

グリコ看板リニューアル記念

阪神タイガースユニフォームに着替えた 5代目グリコ看板のランナーの大きさを体感！ ゴールインマークのカバーシートを吊り下げ展示 7月28日(月)から江崎記念館にて期間限定公開

<概要>

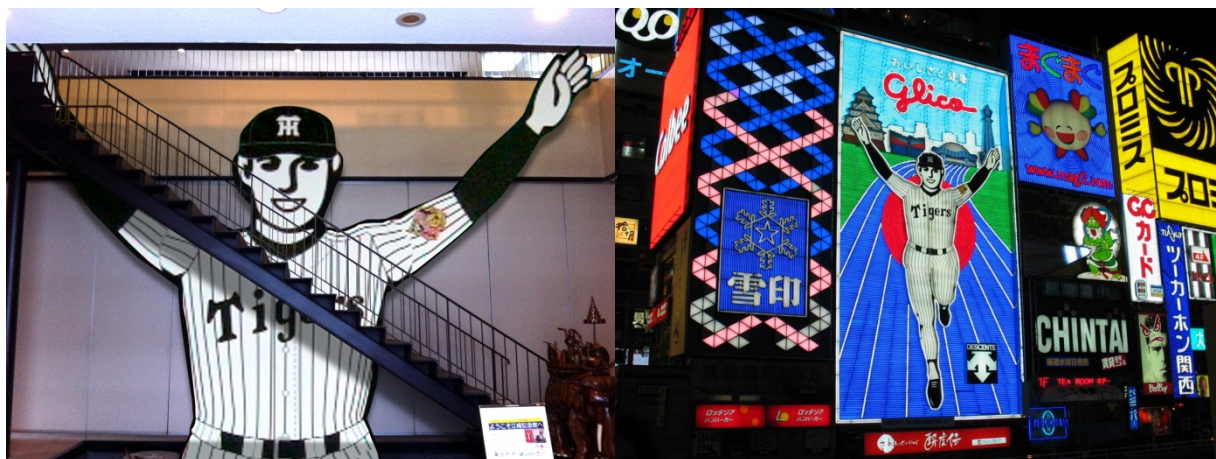
江崎グリコ株式会社は、大阪道頓堀にあるグリコ看板のリニューアルに伴い現在の5代目を8月17日(日)に消灯し、2014年秋に6代目の完成を予定しております。

このリニューアルを記念して、企業ミュージアム「江崎記念館」では、特別展「道頓堀グリコネオン」展の追加企画として、阪神タイガースのユニフォームに着替えた5代目看板に貼付していたゴールインマークのカバーシートを2014年7月28日(月)から11月28日(金)まで展示いたします。

このゴールインマークのカバーシートは、2003年8月に阪神タイガースの躍進と日本の景気回復を応援するため、江崎グリコと株式会社デサントの共同企画により、期間限定で阪神タイガースのユニフォームを着用したものです。

この展示は、江崎記念館入口ホールに入った途端、「ゴールインマーク」の上半身がお客様をお迎えし、看板の大きさや阪神タイガースのユニフォームを着用したランナーのインパクトを体感していただけるものとなっております。

江崎記念館では阪神タイガースのユニフォームを着用したゴールインマークのカバーシートの展示以外にも、歴代のグリコ看板の再現模型や創業時から現在までの歴代のグリコのおもちゃのうち約4,000点を展示しています。ぜひこの機会に江崎記念館をご見学下さい。



(左：展示イメージ図、右：ユニフォームを着用した当時のグリコ看板)

江崎記念館は1972年、創立50周年記念事業の一環として、従業員に創業の志を伝え、社業の発展に寄与するため設立したものです。館内には創業以来の江崎グリコのあゆみに関する資料、製品・販促品をはじめ、創業者江崎利一ゆかりの品々を展示しております。展示品の一部は国の近代化産業遺産に認定されています。

- 名 称 : 江崎グリコ株式会社 江崎記念館
- 所在地 : 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島4-6-5
- 電話番号 : 06-6477-8257
※予約の電話番号も同じ
- 交通手段 : JR東海道本線 塚本駅より徒歩 16分
JR東西線 御幣島駅より徒歩 18分



- 11月28日までの開館時間 :

月曜日から金曜日	10時～16時 (要予約・自由見学)
土曜日 (7～8月)	毎週土曜日10時～16時 (予約不要・自由見学)
土曜日 (9～11月)	第1・第3土曜日10時～16時 (予約不要・自由見学)

- ※ 最終入館時間は15時30分です。
- ※ 日曜日・祝日およびお盆休み (8月10日から8月17日) は休館です。
- ※ 11月28日以降の開館時間については江崎グリコHP (<http://www.glico.co.jp/kinenkan/>) をご確認ください。

■ 見学に関する詳細

- ※ 団体(20名以上)での見学は、事前予約をお願いします。
- ※ 展示フロアは2階ですが、エレベーター施設はございません。
- ※ 来館者用の駐車場は完備しておりません。公共の交通機関をご利用ください。
- ※ 施設には売店等はございません。

【道頓堀グリコネオン展概要】

初代から5代目までの再現模型と共に看板の歴史の紹介パネルを2014年7月3日(木)から11月28日(金)まで展示しています。可能な限り現物に近づくよう照明器具を使って、道頓堀を彩ったネオンの輝きを体感できるものに仕上げました。(5代目の再現模型は8月18日公開予定です)



「道頓堀グリコネオン」展 展示中の 初代から4代目までの 再現模型

【ご参考①】 これまでのグリコ看板

<p>初代 昭和 10 年～</p>	<p>大阪道頓堀川、戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔が立ったのは 1935 年(昭和 10 年)。高さ 33m を誇るネオン塔は、トレードマークのランナーとグリコの文字を 6 色に変化させ、同時に毎分 19 回点滅する花模様で彩ったものでした。当時としては型破りのネオンで、一躍大阪ミナミの名物となりました。</p>	
<p>2 代目 昭和 30 年～</p>	<p>1943 年(昭和 18 年)、戦況が厳しくなり鉄材供出のため撤去されてしまいましたが、戦後の 1955 年(昭和 30 年)、2 代目が再建されました。ネオン塔(高さ 21.75m)は砲弾型の下部に特設ステージ(高さ 5.26m)を持つユニークなもので、そこでは大きな人形のワニ君がピアノをひいたり、人形劇を演じたり、ロカビリー大会を催したりしました。</p>	
<p>3 代目 昭和 38 年～</p>	<p>1963 年(昭和 38 年)には高さ 18m、横 8m の 3 代目にバトンタッチ、噴水ネオン塔になりました。12 トンの水が、トレードマークの中心部にある 150 本の水車状のノズルから噴き出し、12 色のランプ 400 個がそれを照らして、きれいな虹の模様を描きました。落下した水はまたポンプで上のタンクに戻す仕掛けになっていました。</p>	
<p>4 代目 昭和 47 年～</p>	<p>高さ 17m、横 10.85m で 1972 年(昭和 47 年)に建設しました。バックになっている陸上競技場のトラック部分を点滅させ、トレードマークのランナーに躍動感を持たせたネオンでした。このネオン塔は、日没から午後 11 時までネオンが点灯し、競技場の中央コースからゴールインするランナー姿が川面に映え、看板を背景に記念撮影するほどの名物看板になっていました。隣接するビル改装に伴い 1996 年 1 月 21 日に消灯、その翌日から撤去しました。</p>	
<p>5 代目 平成 10 年～ ※現行</p>	<p>1998 年(平成 10 年)7 月 6 日(月)、4 代目の撤去後、約 2 年半ぶりに再点灯されました。陸上競技場のトラックを走るランナーの背景には、大阪を代表する 4 つの建物(大阪城、海遊館、大阪ドーム、通天閣)が描かれています。また、バックの情景の色が変化することで、朝、昼、夕焼けそして夜と、ランナーが大阪の街を一日かけて走っているような姿を表現しました。 【大きさ】 高さ 20.00m、横幅 10.85m 【ネオン管】総数約 4,460 本、のべ 5100m。全 7 色 【点灯時間】日没 30 分後に点灯、24 時に消灯</p>	

【ご参考②】 指定景観形成物について

2003 年 4 月、「大阪市指定景観形成物」に指定されました。これは、大阪市都市景観条例に定められており、大阪市民が親しみ、誇りともする景観的にも優れた建物などを所有者の同意を得たうえで大阪市長が指定するものです。制度制定後の初の指定では当社ネオンのほか、大阪城天守閣、住吉大社など歴史的建造物を含む 12 の建造物が選ばれました。

【ご参考③】 グリコのランナーについて

このランナーは、1922 年の江崎グリコの創業時、つまり、「栄養菓子 グリコ」の創製時に、そのコンセプトに合致するものとして誕生しました。以来、企業理念「おいしさと健康」を表すシンボルマークとして、90 年以上にわたり親しまれております。陸上選手がゴールインする瞬間の姿をモチーフにしており、商標としての正式名称は「ゴールインマーク」です。

以上